

戸籍附票システム標準準拠システム【第3.1版】 正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
1	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】	第3章 機能要件 1 管理項目 1.3.5 交付履歴の管理	-	【実装必須機能】 1.1.1(戸籍の附票データの管理)に規定する証明書の交付履歴(20.1.1.(戸籍の附票の写し)、20.1.2.(戸籍の附票の除票の写し))は、市区町村が定める期間、以下の項目を管理すること。	【実装必須機能】 1.1.1(戸籍の附票データの管理)に規定する証明書の交付履歴(20.1.1.(戸籍の附票の写し)、20.1.2.(戸籍の附票の除票の写し))は、市区町村が定める期間、以下の項目を管理すること。	誤記の訂正	
2	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】	第3章 機能要件 1 管理項目 1.3.6 認証者	-	【実装不可機能】 証明書等の認証者を「〇〇長 公印」のように氏名を空欄とできること。	【実装不可機能】 証明書等の認証者を「〇〇長 公印」のように氏名空欄とできること。	誤記の訂正	
3	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】	第3章 機能要件 5 証明 5.1 証明書記載事項	-	【実装必須機能】 また、削除となった者が筆頭者であり、当該者が削除された後に戸籍届出等による修正により戸籍の表示としての筆頭者氏名欄の氏に変更が生じた場合、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で戸籍の表示(本籍・筆頭者)について表示する際には、備考欄に戸籍の表示における筆頭者氏名欄の氏変更の異動履歴を必ず記載すること(記載方法については、20.0.4(備考欄(異動履歴の記載))を参照すること。)	【実装必須機能】 また、削除となった者が筆頭者であり、当該者が削除された後に戸籍届出等による修正により戸籍の表示としての筆頭者氏名欄の氏に変更が生じた場合、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で戸籍の表示(本籍・筆頭者)について表示する際には、備考欄に戸籍の表示における筆頭者氏名欄の氏変更の異動履歴を必ず記載すること(記載方法については、20.0.4(備考欄(異動履歴の記載))を参照すること。)	誤記の訂正	
4	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「機能・帳票要件一覧」	0040007	【要件の考え方・理由】 戸籍附票システムにおいては、戸籍情報システムにおける訂正に係る事項の記載のない戸籍の附票の再製という概念が存在しないことから、戸籍法第11条の2に基づき、戸籍において虚偽の届出等、錯誤による届出等又は市区町村長の過誤の訂正に係る事項の記載のない戸籍の再製の申出があり、戸籍の再製が行われた際には、改製することとする。	【要件の考え方・理由】 戸籍附票システムにおいては、戸籍情報システムにおける訂正に係る事項の記載のない戸籍の附票の再製という概念が存在しないことから、戸籍法第11条の2に基づき、戸籍において虚偽の届出等、錯誤による届出等又は市区町村長の過誤の訂正に係る事項の記載のない戸籍の再製の申出があり、戸籍の再製が行われた際には、改製することとする。	誤記の訂正	
5	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】	シート「機能・帳票要件一覧」	0040161	【機能要件】 ただし、戸籍の附票の写し等の証明書については、出力時に文字溢れしている旨のアラートを表示し、デフォルトで該項目を限界まで出力するか該項目を空白で出力するかを選択でき、出力時に変更することもできること。	【機能要件】 ただし、戸籍の附票の写し等の証明書については、出力時に文字溢れしている旨のアラートを表示し、デフォルトで該項目を限界まで出力するか、該項目を空白で出力するかを選択でき、出力時に変更することもできること。	誤記の訂正	
6	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「機能・帳票要件一覧」	0040230	【機能要件】 項目名は、「【】」で囲い、「【】」の中は横書き、左右中央揃えとすること。ただし、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書(20.2.2参照)については項目名を「【】」で囲わず表での表記をすること。	【機能要件】 項目名は、「【】」で囲い、「【】」の中は横書き、左右中央揃えとすること。ただし、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書(20.2.2参照)については項目名を「【】」で囲わず表での表記をすること。 ただし、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書(20.2.2参照)については項目名を「【】」で囲わず表での表記をすること。	重複記載箇所の削除	
7	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「機能・帳票要件一覧」	0040235	小分類: 20.0.2 各項目の記載	小分類: 20.0.4 備考欄(異動履歴)の記載	誤記の訂正	
8	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「機能・帳票要件一覧」	0040236	小分類: 20.0.3 備考欄(編製年月日等)の記載	小分類: 20.0.4 備考欄(異動履歴)の記載	誤記の訂正	
9	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「項目詳細一覧」	-	機能ID: 0040281	機能ID: 0040282	誤記の訂正	

戸籍附票システム標準準拠システム【第3.1版】 正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
10	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「エラー・アラート項目一覧」	-	エラー15:(参考)表示メッセージ例:異動事由に合わない人が選択されました(異動事由に合った該当者を選択してください。)	エラー15:(参考)表示メッセージ例:異動事由に合わない人が選択されました。(異動事由に合った該当者を選択してください。)	誤記の訂正	
11	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】 別紙 機能・帳票要件	シート「帳票関連項目等一覧」	0040240	<p>タイトル:備考欄(異動履歴)の記載要領</p> <p>(記載要領) {異動日}・・・異動日を記載する。 {異動事由}・・・1.2.2で規定する異動事由を記載する。 {処理日「職権」}・・・処理日及び「職権」の語を記載する。 {対象者名}・・・異動のあった対象者の最新氏名を記載する。 {異動項目}・・・異動のあった項目名を記載する。 {異動前データ}・・・{異動項目}の異動前のデータを記載する。 {異動後データ}・・・{異動項目}の異動後のデータを記載する。</p> <p>※ {異動前データ}又は{異動後データ}が1行で収まらない場合は、「:」の右から2行目が始まるようにぶら下げる。 ※ 異動項目が住所である場合には、異動前データ及び異動後データの記載を省略する。異動事由が「誤記修正」である異動履歴について、デフォルトとして記載しない扱い(削除となった者及び戸籍の附票の除票の場合を除く。)であるが、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で表示することとなった場合においては、異動前データ及び異動後データを記載する。 ※ 戸籍届出による記載(出生、婚姻等)に基づく職権記載等に基づき、戸籍の附票に記載する場合や、戸籍届出による削除(死亡、失踪宣告等)、改製等により戸籍の附票から削除する場合には、記載又は削除対象者に係るほとんど全ての異動項目について記載又は削除を行うこととなることから、これらの場合においては、異動項目、異動前データ及び異動後データの戸籍の附票の写し等への記載については省略し上詰めとすることとして差し支えない。</p>	<p>タイトル:備考欄(異動履歴)の記載要領</p> <p>(記載要領) {異動日}・・・異動日を記載する。 {異動事由}・・・1.2.2で規定する異動事由を記載する。 {処理日「職権」}・・・処理日及び「職権」の語を記載する。 {対象者名}・・・異動のあった対象者の最新氏名を記載する。 {異動項目}・・・異動のあった項目名を記載する。 {異動前データ}・・・{異動項目}の異動前のデータを記載する。 {異動後データ}・・・{異動項目}の異動後のデータを記載する。</p> <p>※ {異動前データ}又は{異動後データ}が1行で収まらない場合は、「:」の右から2行目が始まるようにぶら下げる。 ※ 異動項目が住所である場合には、異動前データ及び異動後データの記載を省略する。異動事由が「誤記修正」である異動履歴について、デフォルトとして記載しない扱い(削除となった者及び戸籍の附票の除票の場合を除く。)であるが、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で表示することとなった場合においては、異動前データ及び異動後データを記載する。 ※ 戸籍届出による記載(出生、婚姻等)に基づく職権記載等に基づき、戸籍の附票に記載する場合や、戸籍届出による削除(死亡、失踪宣告等)、改製等により戸籍の附票から削除する場合には、記載又は削除対象者に係るほとんど全ての異動項目について記載又は削除を行うこととなることから、これらの場合においては、異動項目、異動前データ及び異動後データの戸籍の附票の写し等への記載については省略し上詰めとすることとして差し支えない。(記載要領)</p> <p><u>{異動日}・・・異動日を記載する。</u> <u>{異動事由}・・・1.2.2で規定する異動事由を記載する。</u> <u>{処理日「職権」}・・・処理日及び「職権」の語を記載する。</u> <u>{対象者名}・・・異動のあった対象者の最新氏名を記載する。</u> <u>{異動項目}・・・異動のあった項目名を記載する。</u></p>	重複記載箇所の削除	

戸籍附票システム標準準拠システム【第3.1版】 正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
					<p> <u>「異動前データ」…「異動項目」の異動前のデータを記載する。</u> <u>「異動後データ」…「異動項目」の異動後のデータを記載する。</u> ※ 「異動前データ」又は「異動後データ」が1行で収まらない場合は、「:」の右から2行目が始まるようにぶら下げる。 ※ 異動項目が住所である場合には、異動前データ及び異動後データの記載を省略する。異動事由が「誤記修正」である異動履歴について、デフォルトとして記載しない扱い(削除となった者及び戸籍の附票の除票の場合を除く)であるが、特別の請求又は必要である旨の申出に基づき市区町村長の判断で表示することとなった場合においては、異動前データ及び異動後データを記載する。 ※ 戸籍届出による記載(出生、婚姻等)に基づく職権記載等に基づき、戸籍の附票に記載する場合や、戸籍届出による削除(死亡、失踪宣告等)、改製等により戸籍の附票から削除する場合には、記載又は削除対象者に係るほとんど全ての異動項目について記載又は削除を行うこととなることから、これらの場合においては、異動項目、異動前データ及び異動後データの戸籍の附票の写し等への記載については省略し上詰めとすることとして差し支えない。 </p>		

戸籍附票システム標準準拠システム【第3.1版】 正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
12	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_機能・帳票要件	シート「(参考)内部帳票についてペーパーレスで行う方法の例」	-	(異動後)本籍:東京都千代田区霞が関二丁目1番地	(異動後)本籍:東京都千代田区霞が関二丁目1番	誤記の訂正	
13	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_諸元表	0040001_戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明) 0040002_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)	-	項目名:氏名	項目名:筆頭者氏名	仕様書記載内容と平仄合わせのため訂正	
14	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0040001_記載例 全部証明の「以下余白」に関する留意書き	-	ページ内にちょうど収まった場合は、「(以下余白)」を省略すること。	ページ内にちょうど収まった場合は、「以下余白」を省略すること。	誤記の訂正	
15	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_諸元表	0040001_戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明) 0040002_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)	-	異動履歴:異動対象者氏名の1行下、枠左端から2文字空け「事由の生じた年月日」+「異動」+「()」で囲って異動事由(「戸籍届出等」による記載、「転出」等)を記載+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	異動履歴:異動対象者氏名の1行下、枠左端から2文字空け「事由の生じた年月日」+「異動」+「()」で囲って異動事由(「戸籍の届出による記載」、「転出」等)を記載+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	誤記の訂正	
16	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_諸元表	0040002_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)	-	「■除票となった旨及び年月日:」と記載、スペースを空けず「事由の生じた年月日」+「異動」+「()」で囲って異動事由(「戸籍届出等」による削除、「改製」等)+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	「■除票となった旨及び年月日:」と記載、スペースを空けず「事由の生じた年月日」+「異動」+「()」で囲って異動事由(「戸籍の届出による削除」、「改製」等)+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	誤記の訂正	
17	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0040002_記載例 全部証明_除票 0040002_記載例 全部証明_除票(特別の請求等) 0040002_記載例 個人証明_除票	-	■除票となった旨及び日付:令和6年8月22日異動(戸籍届出等による削除)(令和6年8月22日職権)	■除票となった旨及び日付:令和6年8月22日異動(職権消除)(令和6年8月22日職権)	誤記の訂正	
18	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_諸元表	0040002_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)	-	2. 構成 項番4 // (2枚目以降) 発行単位:選択された附票個人(複数個人も可)	2. 構成 項番4 // (2枚目以降) 発行単位:選択された附票個人	誤記の訂正	
19	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0040004_記載例 在外選挙人名簿登録者～通知書	-	宛名:選挙管理委員会御中	宛名:選挙管理委員会	誤記の訂正	
20	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_諸元表	0040004_在外選挙人名簿登録者～通知書	-	公証(年月日) 内容:文書番号の1行下に記載 行数(繰り返し):1 折り返し:無 型:日付型 桁数/行※:11 和暦・西暦:和暦 左寄せ・右寄せ:右 文字溢れの対応※:二 基本フォントサイズ(ポイント):9	-	公証(年月日)にかかる項目の追加修正	
21	戸籍附票システム標準仕様書【第3.1版】別紙_業務フロー	5 証明 証明書の交付(戸籍の附票の写しの例)	-	5.5発行番号	5.4発行番号	誤記の訂正	